

2024年11月15日

各位

ENEOS株式会社

性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」で 5年連続最高評価「ゴールド」を受賞しました！

当社（社長：山口 敦治）は、企業の性的マイノリティに関する取り組みの評価指標である「PRIDE 指標」において、5年連続最高評価である「ゴールド」を受賞しましたので、お知らせいたします。



「PRIDE 指標」は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するために一般社団法人 work with Pride ※1 が 2016 年に策定した日本で初めてとなる LGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の 5 つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

当社は、グループ長期ビジョンにおいて「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立を掲げています。基盤事業を強化しつつ、エネルギートランジションを実現するという大きなチャレンジを担うのは“人”であり、第3次中期経営計画における「人材戦略」においても、多様な従業員一人ひとりが持てる能力を最大限発揮できる環境を戦略的に整えるため、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）を重要な取り組みの一つと位置付けています。

公正で公平な仕組みづくりや従業員の成長を後押しする機会の提供に加え、誰もが自分らしく働けるインクルーシブな職場風土の醸成を目指しています。特に、性的マイノリティに関しては以下の取り組みを行っています。

<当社の取組み>

- 差別やアウティングの禁止に加え、カミングアウトがあった際の適切なコミュニケーションの取り方等をまとめた「職場サポートガイドブック」を発行
- ENEOS ALLY（エネオス アライ）の運営（活動促進のためのグッズ配付や外部イベント参加等）
- 社内への継続的な意識啓発と情報発信（全社 e ラーニングの実施や当事者の方を招いた理解促進セミナーの実施等）
- 社内専門窓口の設置
- 人事制度における「配偶者」の定義に同性パートナーを追加

当社は、人権や多様性尊重の考え方をグループ行動基準に掲げ、今後もダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン（DE&I）の推進を積極的に図り、継続的な企業価値の向上につなげるとともに、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献してまいります。

※1. work with Pride について

一般社団法人work with Pride は、企業などの団体におけるLGBTQ+など性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体です。年に一回、企業・団体の人事・人権・ダイバーシティ担当者を主な対象に、LGBTQ+に関するカンファレンスの開催や、『PRIDE 指標』、『レインボー認定』の運用等行なっています。

<https://workwithpride.jp/>

以 上